

広島工業大学

同窓会誌



第8号

昭和49年

An aerial photograph of the Hiroshima University campus, showing a large baseball stadium in the foreground, several multi-story academic buildings in the center, and surrounding greenery and urban areas.

広島工業大学学歌

歌詞 広島工業大学選定

作曲 井上佳

緑なる 緑なる三宅

深きいわれの御倉を開き

倫哲愛を誇る 我等が学府

見よや行くて 精気の学士

研学の道 倚りてぞ極む

ああ 広島工業大学

広島工業大学同窓会誌

第 8 号

目 次

昭和 49 年 3 月

提 言

この一年の歩み

学 長

前 川 力 1

会員だより

「サタケ工大会」..... 3

日本列島改造後

(株)新川電機

正 木 伸二郎 5

準会員だより

ああ 工大文化局

自治会文化局 局 長

大 下 芳 生 7

第 14 期自治会名簿

同窓会誌に寄せて

体育局長

十 河 繁 樹 8

学園だより

母校の人々

学生部課長

瀬 尾 洋 9

教務部

小 田 幸 子 10

研究室訪問<その 7>

機械工学科流体力学

西 茂 夫 12

就職状況

就職委員会だより 14

同窓会だより

本部だより 20

会計中間報告..... 21

議事録 22

編集後記 23

同窓会会則改正..... 24

47 年度卒業生名簿 28

十周年記念樹を贈呈 57

広 告

提 言



この一年の歩み

学 長 前 川 力

私が工大に着任いたしましてからのほぼ一年を省りみて一番残念に思いますことは、せっかくの創立十周年記念の行事を行い得なかったことです。これは11月2日の大学祭の当夜祭でおきた立看板の取扱い方に端を発しました学生自治会執行部と大学当局との間の風通しの悪さが原因でしたので、目下、工大の今までのよき伝統を生かし、守りつつ明るく活気ある学園とするための学生準則のあり方が検討されております。その他、いろいろの問題を衆知を集めて解決するために基本問題調査委員会を設けて検討を始めております。

教育研究施設の充実という面では、2号館を移築してその跡に土木と建築のための構造、材料および水理実験室を含む4階建、約千坪の建物の工事が始まりました。この建物は年度頭初2億円の予算で計画されたものが物価の値上がりで、落せるものではできるだけ落しても3億円を超え、来年度完成の2年計画となりました。

わが工大の授業料は過去4年間据置かれて、工科系私大においては最低線にありましたが、諸経費の昂騰のため止むを得ず昨日の理事会で新入生から授業料の5万円がきまり、22万3千円になりました。これと入学金5万円

(据置)を加えました入学時納入額も最低の部に入ります。この授業料の値上げ決定に至るまでの経過において、教職員および学生にも経理

の状況を説明して意見をきく会を開き、合意を得て行なわれたことは、時代の要請とは申せ評価していただきたいところです。なお広島工大の財政の規模は消費支出で9億円台、資金支出で13億円台で、上記の授業料の値上げと来年の受験料の値上げ3千円を見込んでも2千5百万円の赤字が見込まれております。

さて、私に与えられました提言という題目の趣旨に添うため一つ小さな夢を述べたいと思います。

わが国の高度経済成長政策のひずみは国内にあふれていると共に海外にもあふれ、また、世界的な南北問題とのからみ合いで、先日の田中首相の東南アジア訪問の時のようなことが起りました。それでわが工大は、またその卒業生は、開発途上国に本当に役立つ、先方によろこんでもらえるような人材の養成ということを夢の一つに加えたらどうでしょう。同窓会が主催された欧州の見学旅行も結構ですが、青年協力隊への参加、あるいは海外に就職の場を拡げること

も考えていいのではないのでしょうか。これこそいたずらに日の当る道を選ばず「神と共に歩み、全人類社会に奉仕する」というわが工大の教育方針にも沿うものと信じます。

幸に今度アルゼンチンから西本オラシオアレハンドロ君が、広島県費留学生として本学に来ることになりました。地の塩となって奉仕するには言葉の問題は極めて重要なので、スペイン語の会話を第二外国語の一つとして取り入れてみたいものです。

また、戦後の価値感の急変から父の権威、教師の権威というものに落ち、教育においても無責任な放任が一般風潮になっておりますが、愛の鞭を振るということが学生自身および父兄からも要望されている様に感ぜられます。これこそ高い授業料に報いる道の一つであり、「教育は愛なり」という建学の精神にも添うものと思う次第です。

(昭和49年1月31日記)

❀❀ 会員だより ❀❀

『サタケ 工大会』

諸会員の皆様・各分野で御活躍のことと存じます。

さて、このたび、我サタケの同窓会員の紹介の期を得ましたので、ここに記させていただきます。

まず、簡単に「佐竹製作所」を紹介致しますと、業種としては、食品加工機製造業となっていますが詳しくは、お米の刈取り後から、白米（皆様の口に入る前まで）の全加工機を製造

しており、その中には主として粳の乾燥、粳・玄米・白米の撰別、精米（酒造用も含む）が、主となっており、これらの各プラントを、広く海外にも出しており、世界のトップメーカーとして伸びています。

では、この中で働く会員はと申しますと、約30名もの先輩、後輩が働いております。

会員は、プラントの施設工事の最先端で工事責任者として又コンピューターをフルに使いこ



なしている者、全プラントの制御装置（電気）の設計・梱包の第一人者として、主要な機械（単体）の設計及びこれに関する治工具の設計をしている者と、ありとあらゆる主要な部所に活躍しております。

これらの会員は年2回「サタケ・工大会」として、全員集合し、お互に、会員の認識を深めております。又この時、大学歌を歌うので通例となっています。

特に昨年は、副社長との座談会も開かれここで工大会を期待し、激励されたこともありました。

我サタケでは、新入社員は、全員入社して2ヶ月の教育期間があり、この間には自衛隊へ入隊し、特訓を受け、後に所属の決定がされることになっています。この時、全員が不安であるということから、我工大会では、早目に親迎会をし、会社の内容等の話をしたりして、所属決定での不安の解消に大変役立って、他の新入社員より先じた気持ちで、所属に入ることが出来る様にと、親迎会も開れております。

所で、今、我社では、工大卒が一番多く良い意味での体制作りにより全員頑張っています。

会社内での会員同志というものはHuman relationをより向上する上で、唯、同じ大学で学んだということだけであるのに、最上のものと思う。又、各人が各仕事をする上でも、変わった意味の協力が出る、仕事の上で困難にぶつかっても、先輩のアドバイスが得られ、又、後輩が相談に来て必要以上に面倒をみなくなる。ここに、先輩、後輩の不思議な関係を感じるのである。サラリーマンにとっては、ライバ

ル意識は、必ず持ち合わせているが、この先輩後輩の関係においては、これがないのも又不思議である。

私はこの関係をもっともっと盛り上げてお互いの自己啓発に役立てばと思う。

しかし、ここで私は考えるのであるが、先輩たる者、後輩の面倒を見て又、面倒をみることによって、恩を売ろうとしてはならない。

とかく人は、他人の面倒を見ることによって、相手をしがらみにしばりあげてしまう傾向があり、そうして出来た関係というものは現在のHuman relationからみればズレた時代感覚であって長続きしなく、しまいには、無理が生じ後になって悔む結果になることが必定だ。又後輩は、先輩を自分の進むべき目標とするもので決して利用するものではなく、自分の迷いとか、わからないことを聞き、又自分の人生のある時期の目標として見習うべきと私は考えている。

以上、乱文であるが、「サタケ工大会」の紹介と、私の先輩、後輩におけるHuman relationに対する考え方を述べてここで筆を置くことにする。

『日本列島改造後』……………

新川電機(株) 正 木 伸 二 郎

私は会社に入社して、月平均4回位の出張をしている。最初の頃は、電車に乗るときいつも雑誌を買って読んでいたが、考えて見ると、雑誌代だけでも馬鹿にならず、ここ一年は、小説とか単講本などを買って、読んでいた。読む本はSFが多く、特に短編物が好みだ。ウエルズの短編集や、星新一のショートショートなどは一通り目を通してゐる。

SF小説と云うと、最近ではそうではないが以前だと、小説の仲間に入らなかったそうで、私は、このSFの持っている、未来的な夢とか不安感というものを味わうのが大好きだ。この感じは、電車の外の景色を、数十年後の世界の景色に変えてしまう魅力を持っている。

先日、徳山からの帰りに、心配症の作家(本人もそう書いている)星新一の、公害について書いているショートショートを読んでいるときふと外の景色を見ると、そこは、現在、水質・大気汚染とも日本のトップクラスを行っている大竹岩国コンビナートでした。本を閉じて、10年先、20年先のいやいつの事はわからないけれども、とにかく未来の風景を想像した。

今、私の乗っている、リニアモーターカーはどんどん加速を始め、目的地の広島市まで約15分程度の所まで来ている。

遠くには、今日も公害前線によって出来た、

入道雲が稲妻を走らせている。数10年前まで人類は、公害を地球上から無くそうと色々な努力を払って来たが、結局、公害を無くするために新製品を作れば、その作業過程において、新しい公害を発生してしまうと云った、悪循環を繰り返してしまうので、とうとう政府も方進を変えて、地域無公害システムというものを開発した。これは、以前あった地域冷暖房方式を進歩させた様なもので、エアコンディショナー水質管理装置、生活酸素再成装置、雑音吸収装置、人工太陽等の装置の回りを、直径10数キロメートルの大プラスチックドームで包み、このドーム内は、いつも快適な環境になっている。最初は、数ヶ所だけに、この様なドームに囲まれた都市があったが、最近では、数千都市にもこのほり、都市間は、3本ないし5本の大口徑パイプラインで繋がれている。このドームには、大きな煙突があり、これからドーム内の悪いガスを吹き出している。このガスが冷えた外気に触れると、極地的な小前線を作る事があり、これが、入道雲や稲妻の原因となっている。しばらくすると、ドームにおおわれた宮島が見えて来た。現在は、島と本州をきりはなすものではなく、リニアモーターカーのハンドルすれば宮島に船に乗る事なく行く事が出来るが、海の無い宮島と云うものは味けなく、ここ数年宮島にも

行っていない。

私は、数十年前、このあたりの海にヨットを走らせていた事を思い出し、このドームの外の世界に出て見たくなった。それも、あの重い公害防護服を着ずに。今では、ドームの外に出るには、この様な服を着用しなければ、外出はゆるされない。理由は、ドームの外には、悪性のガスが充満しているからとか。

次の日、私は市役所にドームの外に出るための、手続を行ないに行った。外出届書に理由と云う項があったが、さんざん考えたあげく、新資源調査の為と書いた。係の人に「なんの調査ですか。」と聞かれたが、「今は話せません、調査後報告書を提出します。」と言ったら、「2日後、届出証明書を取りに来て下さい。」との事で、役所の仕事だけ進歩がなく、むかしと同じだと思いながら、家に帰った。

2日後、証明書を取りに行き、さっそく、公害防護服を借りて、ドームの外に出た。外は想像していたよりも、新鮮で、緑も多い。なぜこんな所へ出るのに、こんな重い服を着なければいけないのかと思うほどだった。

緑の木々の間を通り抜けながら、数日前思っていた事の実験をやろうと考えた。ふと見ると道路のまん中に、防護服が落ちていて、その上にどぶねずみが1匹座っていた。ドームの外に出て初めての動物であった。これで、外の世界にも、生存出来るだけの酸素がある事がわかった。しかしこの防護服が、なぜこんな所へ落ちているのか、不思議ではあったが、くずれかけている家々の間を、ドームから遠くへと進んで行くうちに、忘れてしまった。いよいよ実験に

かかる事にした。まず、ヘルメットを取った。すこし鼻を突く臭いがするが、生きて行けない事はないと思った。かえってヘルメットを取った事で、気分的に伸び伸びした。こんな解放感を味わったのは何年ぶりだろうか。本物の太陽が真上に来て、数年ぶりに、直射日光に当る事が出来た。実験としては、ヘルメットだけ取れば良かったのだが、この太陽で日光浴をと思い防護服まで脱いだ。暖かい日の光で、数時間日光浴を楽しんでいる内に、急に空が曇り、稲妻が光り、雨が空のカーテンの様になってこちらにやって来るのがわかった。すぐに服を着てひきあげようと思ったが、この時、私はむかしスコールで体をあらった事を思い出し、この雨で体をあらって見ようと思った。いよいよ雨が、私の体に当たり始めた。この時、ちょっとした異常を感じた。雨が当たるとビリッとした感じがしその場所がかゆくなるのだ。これは、雨が電気をもっているのかと思い本格的な雨の中に入るのを待った。雨がひどくなればなるほど、私が思っていた壮快さとは反対に、不快さが高まり、かゆみは痛みと変わっていった。あまりの痛さに、頭をかくと、毛がまとめて抜け落ちた。私は、事の重大さに気付いたが、この時は、体のあちこちがとけ始め、目も見えなくなっていた。この時、ふとあの道に落ちていた、どぶねずみの座った防護服の事を思い出した。

準 会 員 だ よ り

ああ 工大文化局 //

□第12期文化局誕生□

昨年12月の自治会総選挙に於いて、文化局が発足して以来、12月21日・22日の江田島「青年の家」、49年1月19日・20日、宮島「まこと会館」の、25サークル40名を集めてのリーダーシップセミナーを経て、1月末の局総会に於いて、文化局後援会の設立準備も進んだ。あわたたしく動いている文化局も、足場が固まり、やっとスムーズに回転し始めたのである。

□文化局の歩み□

課外活動の重要性、及び必要性を主張し続けて、10年の年月を経て、現在、文化局の基盤も確固たるものとなった。その基盤を足場とし、昨年度文化局の方針である。文化サークル4部門制の強化、定期演奏会・芸術展・大学祭と、文化局3大行事の各実行委員会制の確立。加えて、本年度予定の、先に述べた文化局後援会設立と、確固たる組織づくりを成し、文化局もゆるぎない存在となった。現在49年度4月よりの一層の飛躍を目指し、「考え行動する文化局」という、基本概念の掌握、サークル活動の「活動の自由」確立に即する、その促進。「活動の保障」という、基本方針の徹底。等々、49年度文化局の基盤を固めつつある。

□組織への挑戦□

現代は組織の時代といわれ、又、組織の噴出

自治会文化局局長 大 下 芳 生

の時代とも言われている。実際、我々のまわりには、多くの組織が存在している。人間は社会的動物であるといわれているが、その意味は、現代では組織をつくり、維持し、発展させ、そして破壊する動物だということである。

文化局という組織を考える時、それが、平行線をたどる組織であってはならない。いかに充実させ、発展させるかを考えなくては、増々、変化し、高度化する社会に、対応できなくなる。

そこで、まず考えられることは、組織の柔軟化である。今後、組織がおかれる環境が、どのように変化し、それに対応して大学人学生の組織観、人間観が、どのように変化するか、正確に予測することができない。この変化する環境に適応してゆくため、組織は、できるだけ柔軟にしておかねばならないと考える。

その方法として、第一に、系統的、組織内教育。第二に、プロジェクト組織のような一時的組織を、増々多用させること。この二つを、文化局という組織を柱に置き、今年一年、巾広い、自主自律的精神に満ちたサークル活動、人間形成を目指し、活動して行きたいものである。

第 14 期自治会役員名

會長

川西 哲 土 4

副会長

川本 道雄 機 3A

川下登志弘 建 2 B

書記

坪井 幸寿 建 3 A

永井 哲夫 機 3 B

船尾 守

機 4 A

會計

管 隆二 建 3 A

森迫 博史 機 3 B

[REDACTED]

體育局長

十河 繁樹 経 3

文化局長

大下 芳生 建 3 B

同窓会誌に寄せて

現在工大体育局では「スポーツを通して大学を良くする」というスローガンを掲げています。それはスポーツをやっていた者は、就職状況が良好であることから判断しても、スポーツは社会における奉仕出来る人間を作り出すものであるということが出来ます。スポーツ人は又、スポーツを通して、その中に不屈の精神力・連帯感・礼節・強健な肉体を身につけている。それらは、スポーツ人が社会人となった時の大きな支えとなるでしょうし、このようにして得られ

体育局長 十 河 繁 樹

た自分に対する自信は、目には見えないが、大きな自己の財産であろうと思う。それは、学生スポーツにおける唯一の長所であります。早稲田大学においては「大学を良くする」運動をOB達がやった結果成功を修めているし、工大においてもそのような運動を同窓生の方々にお願い申し上げます。

広島工業大学をすばらしい大学にする為には
在学生・同窓生が一体となり運動する必要がある
と思います。



学 園 だ よ り

母校の人々

「 時 間 」



学生部課長

瀬 尾 洋

ことしの誕生日でトウトウ18才になります。本学での在学期間も鶴総長先生について、一番長く留年しています。短大時を含めて、この春で12回目の卒業式を迎えますが、実に年月のたつのは早いもので、この間の入学式で見覚えた顔が、もう卒業式の会場にいるというように本当に短く感じます。それが、最近特に一日のたつのが早く、もっともっと時間がほしいと思うようになりました。それでも私は、卒業単位にいくらかも満たず依然としてとどまっております。

す。

最近物価の値上がりが大きく、ちまた（巷）のあちこちで節約節約のケチケチ運動が実施されまったく共鳴している者です。私たちの周辺にはあまりにも無駄が多かったことに気づかれた方も多いと思います。このエネルギー危機は、しあわせな生活の永続性を考えた場合、反省の契機となったことで良かったと思えます。

私は、これに加えて「時間」というものを合わせて大切にしたいと思います。しかし、時間の節約は物質的な節約の意味と違うことは当然ですが、無計画性から生まれてくる「なんとなく1日が過ぎていた」というものも有意義な生活として、意欲的な活気のある生活に比べるとマイナスであります。さらに、私たちの身近なものから考えると、例えば教育を授ける者も、それを受ける者も、その両者に時間をかけるということは、他にもいろいろの要素はありますが、効果を向上する一つの手段であります。そこで、同じ時間をかけるとしても、より内容的に充実させるために心理的な作用を加えることによって、より効果が倍加されるのではないかと考えられます。そのためには、前提として受けるという者に対しては当然のことながら聞くという態度、心理的に一番受け入れ易いコンディションを整えておくことです。そこで、

授ける方も聞くということを心得ておくこととそれに費やす時間と労力が必要になります。仮にいくら多忙な日程であっても、学生が訪れれば、日程の中から工夫し、時間を割合して聞くことの出来る姿勢をまずつくりたいと思います。

そして、心理的に打ち解けてからの講義なり、学内の日常生活はもっとも楽しいものとなり、そこに人情が芽ばえ、本学の建学の精神であります「教育は愛なり」に対する一つの実践でもあるわけです。そうして、始めて効率よく、授けることを受け入れ、吸収させることが出来、講義を例にとると100分の授業時間の内容が充実するものと思います。イヤイヤとか、無関

心とか、会話不足による先入観念があったり、倦怠性のある場合はさらに効率が悪くなるわけです。

私は、昨年の4月に教務部から学生部へ移り、学生諸君に接し、学んだことの一つであり、大いに反省しているところです。

こういう意味で物質的な節約にプラス、時間に対しても、より生活を活気的なものにするために大切にしたらと思う次第です。社会に出られている方も、これから出られる方も、より幸福な生活を営みつづけられるために元気で頑張ってください。

理想と現実と



教務部

小田幸子

古城を訪ねて或る片田舎に旅行したとき、幾段もの石段を登り、たしか、この辺りが天主閣跡らしいと自分一人で想像し崩れた石垣に腰を下し、しばし、遠い昔を忍んでみました。崩れた石垣に根強く芽を出している雑草にも年代の移り変わりを感じ乍ら、行き交ったであろう凛々しい武士や、美々しい腰元奥女中の夢の跡、その華やかさは今はそのへんりんすらも何うこととはできませんでした。映画やテレビを見る、時代劇を唯目を閉じ想像するだけでした。皓々輝る8月も半を過ぎた月光は古城の跡に未だその過年の輪を刻み乍らも高く青く繁るその松ヶ枝の間を通して明るく影絵の中に私がつつまれているようでした。この一時を江戸時代に返った思いがいたしました。城跡から下を見ると昔は城下町として繁えたであろうと思われる街も今は僅かな名残りを惜しむかのように、観光客

目当てのみやげ物商店の数家の電灯と点在するまばらな民家の灯がまるでホテルのように写るだけで寂しささえ感じられ、感傷的になってきた時何処からともなく聞えてくる琴の音にふと自分にかえりました。その琴の音を聞いた私は美しい大家の娘さんが立派な屋敷の離れ座敷で振袖姿で奏でている状況を頭にえがきました。その私のえがいたものがその琴の音を尚一段と妙なるものとししました。その琴の奏でる主の音を頼りに探しました。探したというよりも誘われたと言った方が正しいかも知れません。然しその琴の主を探し当てました時、案に相違し観光客目当にいくばくかの恵を得るために、盲しい老婆が道にゴザを敷き奏でていたのでありま

す。理想は自分で考えそして作られていき、現実はそのありのままのことであると先輩や父兄から聞かされてはいましたが余りにもその理想と現実とに違いがあると妙に聞えていた琴の音が一変して淋しくそして悲しい音になってしまったのです。私も工大に今年の3月で満8年勤務することになります。就職前の社会に対する私の理想と勤務してからの現実とはこの城下町の状況と同じようなものであったかもしれせん。人は皆美しいものを喜び汚いものを嫌います。然し嫌なことも汚いものも、それから逃げたり目をそむけてはいけないということを8年かかって知りました。この8年は私にとって決して無駄でなかったと信じています。

研究室訪問<その7>

現 状 報 告



機械工学科流体力学

西 茂 夫

昭和43年に第1回の機械工学科の卒業生を送り出して、早7回目を迎えようとしている。その間種々の事があった。当初実験室担当教員の絶対数が不足していて一人で二つ三つ掛持ちで行った事、又、実験装置等の不足で、充分に実験できなかった事等が思い出されます。

現在充分とは云えないが多少の実験が出来るようになった。私の実験室を見て当初は広く感じて居りましたが、衝撃波管を初め、空気流れ等の簡単な実験が行える様になり、広さも人間が10名も入れば身動きが出来ないくらい狭くなり、15名の卒論生が交替で実験を行っている現状です。流体力学の研究としては、高速気流と熱を供った流れに対して現在行っています。そこでもっとも具体的にその内容について説明しますと、

熱を持つ流れに対しては、固体壁上に減速された薄い気体の層があり、この層の事を境界層といいます。この層内に熱を持った円柱を入れた場合、その後流がいかに変化し、温度分布がどの様になるかを実験している。

又、同様な流れの中に垂直に薄い平板を立てた時の後流の影響と、平板に熱を加えた場合の後流の温度分布がどの様になるのかが主体的な実験内容です。

現在熱を加えない時の流れがどのようになる

のか測定している所です。

特にこの局所的流れに対して、熱線風速計を使用していますが、この検出印（プローブ）の網線張るのに苦労している。2、3年前物理教室にベテランの張り師（？）が居た。

彼の張り方を見ていると、5 μ 程度の網線（タングステン線）を指先で摘んでスポットでプローブに溶着させ、いとも簡単に行っていた。

いざ自分が行って見ると余り容易ではない。

張力の掛け方が少いと風速測定の段になって撓みが出て来る。張力を掛け過ぎるとスポットする時に切れてしまう。又校正する時、焼なましをせずに行くと校正値が違ってくる事等種々一つの測定器を使うのにも、その難しさがある。

他の実験は衝撃波管である。衝撃波管そのものの多様性はあるが、私の実験室では、衝撃波の離脱距離について現在行っています。過去にも種々のデーターがあり、又理論的にも近似法で解かれているのを見受けますが、それらを基礎として、より現象に近い関係式又、その特性について実験を行っている段階です。

以上が主な実験内容です。直接目で確かめる事が出来ない事にもどかしさを感じていますが流れを伴う現象は非常に多く、その一つでも解決できる様努力し、工学的立場で社会にわずかでも役立てばと思っています。



就職委員会だより

48年度就職状況と49年度展望

1. 概況 求人多く嬉しい悲鳴

低迷気味の47年度が終ると躍進期の48年度は奔馬のような勢いで始まった。年々早くなり種子初買いにまで発展していた企業の求人活動は、大学企業間のいわゆる「青田刈り防止協定」によって5月1日まで差し止められていたからである。求人は殺到し、7月1日の就職試験解禁とともに、大と言わず小と言わず凡ての企業の就職試験が一斉に開始された。応募する学生も推薦する教官も嬉しい見込み違いで、採用内定者が相次ぎ7月中に既に50%以上の内定者を見るに到った。応募者の70%が1発勝負で就職先が内定した。

この状態は続き、金融引き締め、石油ショックによる影響の現われる以前に殆んど希望者全員が内定し、以後は求人を見失うのに嬉しい悲鳴をあげるという有様であった。

幸い石油ショックの影響も本学に限っては殆んどなく、内定取り消し、家庭待機等の連絡のあったもの皆無と言ってよい。

2. 大学教育の正常化と「青田刈り防止協定」

求人難時代の到来と共に企業側の就職活動の早期化はますますエスカレートし、遂には3年次学生に及ぶに到った。これより先大学側は教

育の正常化のため「7月1日」よりの求人活動「10月1日」以降の推薦を合議したが、企業側の攻勢と学生の自由応募により、事実上この協定は無いのに等しかった。しかし事態がこゝに及んでは何等かの手を打つことが叫ばれるに到り、文部省の仲介で大学側企業側の協定が成立し、前述の通り昭和48年以降「5月1日」以降の求人活動、「7月1日」以降の就職試験・採用内定の線に落ちついた。この協定は事前の策ではあっても大学側・企業側ともまずまず好評ではゝこの線が準守された。昭和49年度は石油ショック、金融引き締め、予想される空前の規模の春闘等の影響もあり、企業側の求人活動もやゝ低調になることも考えられ、引きつゝこの「防止協定」は厳守される見込みである。

3. 48年度の特長

5月1日から開始された求人申込みは同月中に1000件を突破し6月末までにはゝ前年度末の求人数(1,800件)に達し1月28日現在2,469件と対前年比127%と激増した。しかも内容的に見て大企業からの求人件数の増加が著しい。これに比例して採用内定者も100億円以上が10.5%の80人、10億~100

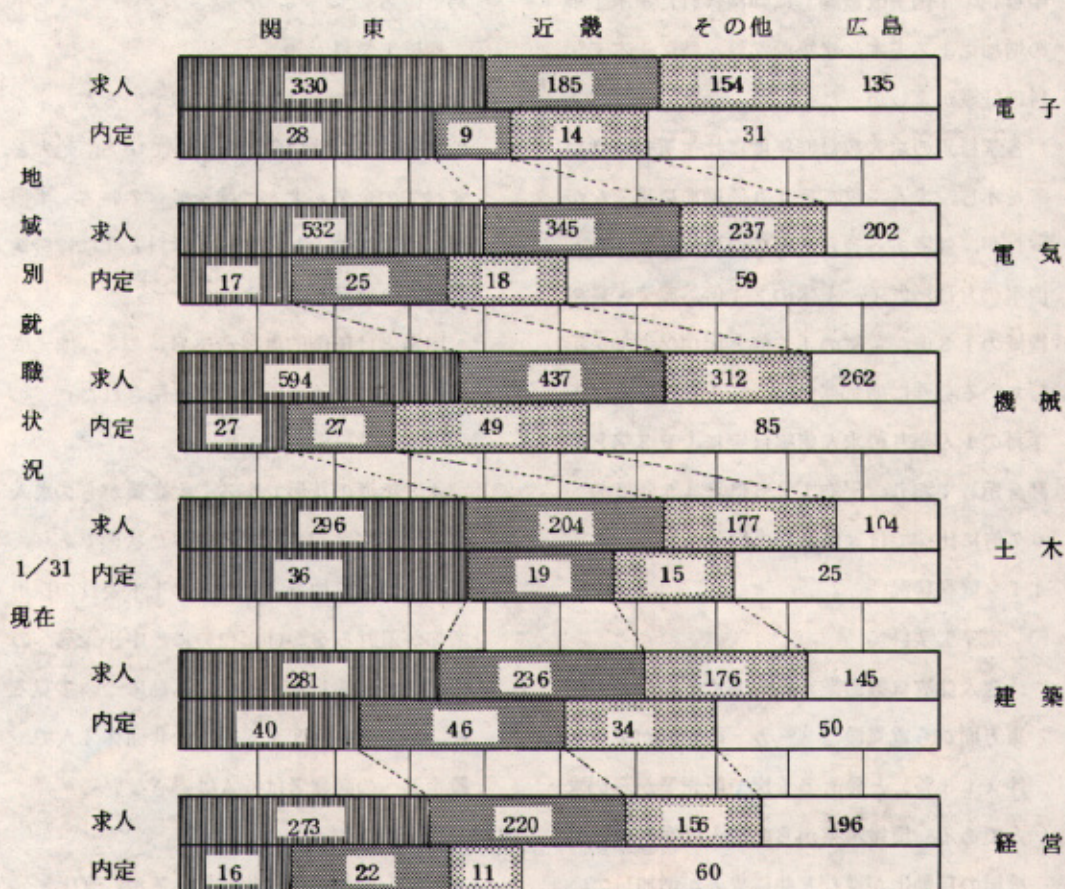
億円が141人の18.7%と昨年の約2倍の比率に達した。

本年度の一つの特長は短期決戦であったために、大企業を除けば企業側にも一度だけの採用試験で人員を充足できず、2次3次等の追加募集が多かったことである。

学生側としては売り市場であったため一発勝負で採用内定を勝ち取った者が多く（平均応募回数（1.43回）も前年（1.84回）を下回った。

これに対し地方別の内定者数では、昨年まで漸増していた地元広島県下への就職者が、昨年の47.3%から40.9%と減少し、大企業の所在地である東京・大阪方面への就職者の増加を見ている。

また官公庁、公共団体への就職率も増加し特に土木、建築両学科が著しく増加しているが、例年相当数の内定者を見る電々公社への就職者数は減少している。しかし国家公務員・道路・住宅公団等への内定者のないことは少からず寂



しい気持がする。

最後に初任給の大巾増額も特長の一つである。次のデーターには大企業は殆んど含まれておらず、また、調査後の改訂もあるので実際の伸びはこれを上回することは確実であろう。第1回生当時に比べるとほぼ3倍の比率であり、先輩後輩の給料の差がますます圧縮されているのが実状のようである。

4. 各学科の就職状況とおもな就職先

前述のように各学科ともに好況であったが田中首相の「国土改造論」に刺激された土木工学科の増加による土木、建築両学科、特に土木工学科の好調が著しかった。

各学科別の求人数は昨年度に比べ著しい増加率を示し、求人実数こそ40%増加に過ぎなかったが、就職あっせん希望者の減少により求人倍率の方は、電子、土木の2.1倍、建築・経営機械の1.8倍、電気の1.5倍と大巾な増加を示している。殊に増加率は最低に止ったが電気工学科の1人当りの求人倍率は実に16.2倍と最高を示しており、平均12.5倍と47年度の6.7倍に比べては5倍加している。

4.1 就職状況

○ 電子工学科

求人件数は製造業が最も多くその中でも関東方面から電気機器メーカーの求人が104件(13%)と最も多く次で販売業からの求人である。情報産業からの求人は案外少いが機械の自動化が進むと共に求人が増加している。内定者も電気機器メーカーの36%が最大で販売業の14%がこれに次いでいる。地域別に見ると広島が最大で39%次で関東

地区の34%であるが地元広島の電気機器メーカーへの就職は4名に過ぎない。

○ 電気工学科

求人傾向は電子工学科と同様であるが建設業が多く、販売業の比率の減少という点で異なる。

内定者も建設業(電設・通信関係)が主流を占め、ことに中国電気工事(株)へ9名が採用されている。これを地方別に見ると広島への内定が59名とは5内定者の1/2を占めている。

○ 機械工学科

求人のパターンは電気に似ているが、求人の絶対数では他の学科を圧している。殆んどすべての企業が求人に関心を並べている。大型機械の導入により、電気工学科と共に建設業界からの要望も多い。

内定者は圧倒的に製造業界が多く、地元広島の企業には46%の者が採用された。

○ 土木工学科

48年度の花形である。大企業からの求人に応ずるだけがやっとといった状態であり、これに加えて地方官庁からの土木要員の採用増加が追討ちをかけたために、中小企業への内定者が激減した。例えば広島について見ると、25名中官庁15人、公共団体4人で一般企業への就職者は6人に過ぎない。

○ 建築学科

ほぼ土木と同じことが言えるが、官庁・公共団体が幾分少く、設計事務所への内定者が多い。土木同様広島への内定者少く一般建設会社からは求人が充足しなかったことにつ

いての不満の声も聞いている。

○ 経営工学科

求人のパターンは電子に似ているが企業の
巾が広いことが特長である。コンピューター
のソフトウェア関係の求人も増加した。他学

科に比し地元広島からの求人が多く、またこ
れに答えて広島への内定者が60人(55%)
と多いことも著しい特長である。

4.2 おもな就職先

数字は採用人員

企 業 体	子	気	機	土	建	経	企 業 体	子	気	機	土	建	経
建 設 業							銭 高 組				1	4	
青 木 建 設					2		大 末 建 設				1	1	
安 藤 建 設					1		大 成 道 路				2		
永 大 産 業					1		大和ハウス工業				1	6	
大 林 組				2	2		竹 中 工 務 店					3	
岡 崎 工 業				1	4		中国電気工事	1	9	4			
奥 村 組					1		間 組				1		
鹿 島 建 設				1			長谷川工務店					3	
協 和 電 設				2			フジタ工業				2	6	
極 東 工 業	1		1		1	1	増 岡 組				1	6	
熊 谷 組				1	1		松 村 組					3	
鴻 池 組					2								
五 洋 建 設		3		4	13								
その他の産業							新ダイワ工業		5	3			
旭 ガ ラ ス	1						ソ ニ ー	1					
宇 部 興 産		1					大 王 製 紙	2		2			
九州松下電器	2						大 協		1	1			2
熊 平 製 作 所			2		2		ダ イ ク レ		2	4			
来 島 じ っ く			3				中国電機製造	1	2	1			
呉 相 互 銀 行					3		中 国 電 力		2	1			
興 人		1		1			常 石 造 船			2			2
山陽国策パルプ			1				東 芝	2					1
三 洋 電 機		1	1				東 洋 工 業			1			1
シ ャ ー プ	3	1	1			1	同 和 鋳 業				1		
十 条 製 紙				1									

企 業 体	子	気	機	土	建	経	企 業 体	子	気	機	土	建	経
十 和						3	松下電器産業			1			2
日 産 自 動 車				1			三井石油化学			1			
日 成 建 設				1	3		三菱化成工業				1		
日本 I・B・M						1	三菱自動車工業			1			
日 本 電 気	1	1				2	三 菱 重 工 業			1			
日 本 ハ ム		2					ミノルタカメラ			1			
波 止 浜 造 船		1	2				矢 崎 総 業	1		2			1
富士機械工業	1	3	2				油 谷 重 工			3			3
富士電機製造	1						菱 船 設 計	1	2	2			
広島相互銀行						3							
官庁・公共団体													
広 島 県 庁				4			電々公社(支社)	1	1		2		
広 島 市 役 所		2	1	9	6	1	国 鉄 (支社)		2		2		
広 島 工 大				2									

5. 49年度の展望

石油ショックはドルショック以上にわが国の産業界に大きな影響を及ぼし、多くの企業が危機到来を訴えている。電力・燃料・材料の不足で減産、人員整理等を行う企業が続出し、倒産も史上最高と伝えられる。ひいては各企業ともこの苦境を乗り切るために、49年度は求人に対してきびしい制限を持ちこむことが考えられ、楽観は許されない。公共団体においても同様で

あり、希望者の増加と共に49年度は狭き門になるであろう。しかし、ドルショックを乗り切ったわが国の産業界は、その変り身のよさを発揮してこの難関を乗り切るだろうという楽観説もある。いずれにせよ狭められたとはいっても絶対的の人手不足は続くであろうし、業種・職種・地域に固執しなければ、さほど悲観するには及ばないのではないだろうか。

同窓会だより

本部だより

同窓会主催

“ヨーロッパ理工学研修旅行”

このたび 日本通運(株)国際旅行部の協力を得て、同窓会主催により「昭和49年度ヨーロッパ理工学研修旅行」を企画し、実施致しました。

本旅行は21日間にわたり、ヨーロッパの代表的企業、大学などを視察、研修するものであり、卒業生、在学生の多数の参加者を得て、下記の通り挙行政致しました。

おもな視察先

パビア大学(イタリア)

ミラノ理工科大学(イタリア)

BMW社(西ドイツ 自動車メーカー)

フリード・クルップ社(西ドイツ 製鉄所)

ラ・ディファンス(フランス パリ新都市計画地区)

I・B・Mフランス社(電算機メーカー)

第1便

昭和49年

3月3日～

3月23日

(45名)

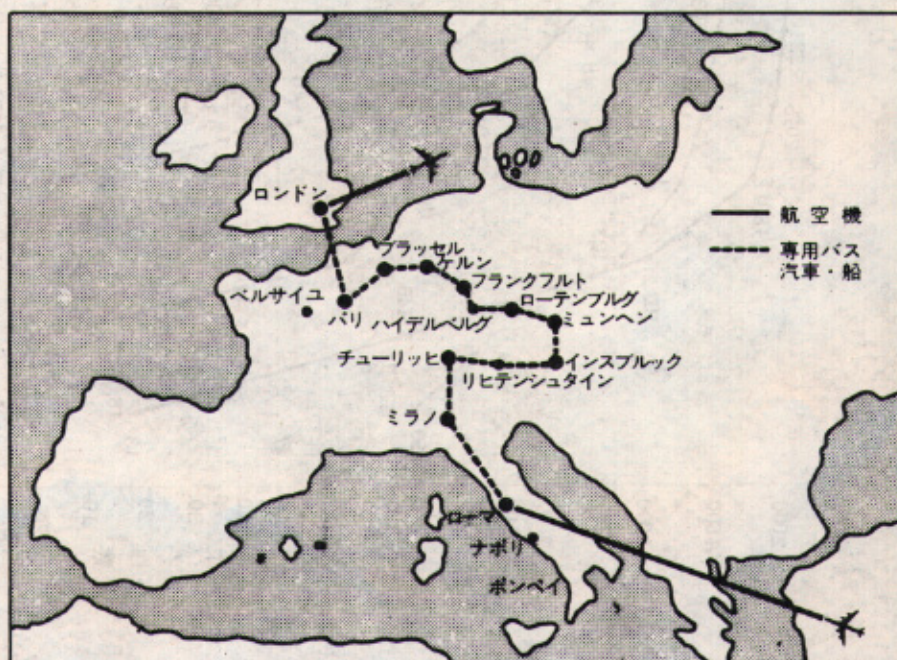
第2便

昭和49年

3月9日～

3月30日

(45名)



— 会 計 中 間 報 告 —

予算支出中間報告

48年度の同窓会活動は物価高の昨今であり
ますが、すべて予算わく内で着実に進められて
おります。

下記に、昭和49年1月29日現在の予算支
出状況を報告します。

科 目	予 算	支 出	残 高
会 誌 発 行 費	535,000	16,000	519,000
会 報 発 行 費	169,000	155,940	13,060
総 会 開 催 費	310,000	309,000	1,000
自 治 会 援 助 費	500,000	333,000	167,000
通 信 費	30,000	2,900	27,100
会 議 費	54,600	30,760	23,840
交 通 費	50,000	—	50,000
卒 業 生 記 念 品 代	400,000	—	400,000
消 耗 品 費	100,000	70,065	29,935
役 員 手 当	88,000	34,340	53,660
支 部 費	50,000	—	50,000
広島工大創立10周年記念行 事 寄 付 金	300,000	300,000	0
予 備 費	900,000	441,425	458,575
合 計	3,486,600	1,693,430	1,793,170

議 事 録

1973年 4月29日(土)

同窓会総会(第8回)(ホテルあいおい)

- 活動報告
- 会計報告
- 会計監査報告
- 会則改正
- 1973年度活動方針報告
- 1973年度会計報告
- 役員選出

議事内容及び総会内容の詳細については同窓会報に記載

の件について

○各簿修正について

1973年 9月22日(土)

役員会(労働会館)

○ヨーロッパ理工学研修旅行の同窓会

主催の件について

○創立10周年記念寄付金について

1973年 10月29日(月)

幹事会(同窓会室)

○大学祭における自治会援助金について

1973年 5月19日(土)

幹事会(同窓会室)

- 第12回体育祭援助について
- 会計事務について
- 第8回総会の反省について
- 会誌, 名簿発送状況について

1973年 12月7日(金)

幹事会(同窓会室)

○理工学ヨーロッパ研修旅行について

1973年 12月20日(木)

幹事会(同窓会室)

○同窓会誌発行について

1973年 6月16日(土)

役員会(労働会館)

- 第8回総会の反省について
- 会誌発行について
- 会計事務について
- 同窓会の運営について

1974年 1月31(木)

幹事会(同窓会室)

- 同窓会誌について
- 同窓会記念品について
- 同窓会総会について
- 49年度役員について

1973年 9月3日(月)

幹事会(同窓会室)

- ヨーロッパ理工学研修旅行の同窓会主催

計 報

一般教育教授

大 槻 正 一 先 生

昭和48年12月24日 享年73才

土木工学科教授

原 田 太 郎 先 生

昭和48年10月8日 享年69才

準会員

483072 西 友 昭 (昭和49年3月8日)



今年の風邪は重い！ ドルショック以来社会情勢は極めて流動的になり先行き不安な此頃ですが、このような時こそ歯を食い締め張り頑張って行ける人が最後に笑えるのでしょう。

社会情勢の悪化は、会誌発行にもかなり強い衝撃を与えました。しかし会誌は会員相互の意志の疎通を計る場であり、そのようなものはねのけむしろ一層の充実をしていかなければならないものと考えております。

会員皆様の建設的御意見を期待いたしております。

編 集 委 員 (玉野・川畑・重広)

広島工業大学同窓会会則改正

6章 会 計

この会の会計細目は会計細則の定める所による。

(－会 則－)

広島工業大学同窓会会計細則

－ 案 －

第1条 (目的)

この細則は広島工業大学同窓会（以下同窓会という）の会計に関する基準を確立し、同窓会活動の円滑なる運営を図り、同窓会の健全なる発展に資することを目的とする。

第2条 (業務)

会計は次の事務を行なう。

1. 同窓会入会金（終身会費および準会員入会金をいう）
寄付金およびその他の受入事務
2. 予算に基づく支出負担行為事務
3. 帳簿類の記帳、保管
4. 会計に関する証拠書類の整理保管

第3条 (帳簿)

会計には次の帳簿を備え常に経理の明確を計る。

1. 現金出納簿
2. 預金出納簿
3. 収入内訳帳

第4条 (帳簿記入の原則)

帳簿はページ順に行ない簡明に記入し原則として余白は残さない。

第5条 (帳簿の更新)

帳簿の更新は会計年度毎に行なう。

第6条 (保存期間)

会計書類の保存期間は次の通りとする。

1. 決算諸表（永久）
2. その他の諸帳簿等（永久）
3. 領収書（永久）

第7条 (収納金の処理)

収納した金銭は同窓会長が特に認めた場合の外は指定の金融機関に預金しなければならない。

第8条（支払い手続き）

金銭の支払いをする場合は請求書その他の取引を証する書類に基き支払う。

第9条（予算の補正）

会長は特別の事由により、予算実行に重大な支障を生ずるおそれのあるときは、役員会の決議を経て予算の補正を行なうことができる。

第10条（予算の遵守）

予算は忠実に実行されなければならないし、予算を超える支出をしてはならない。

第11条（予備費）

予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため予備費を設けることができる。

予備費は、役員会で否決した費途に充てることはできない。

第12条（会計監査）

会計監査は、毎会計年度ごと会計監査員によって行なわれ、総会に報告し承認されなければならない。

第13条（手当）

役員およびその他同窓会運営責任者の手当は内規（一）旅費規程、および（四）手当支給規程の定めるところによる。

第14条（援助金）

準会員および支部援助金費の予算の支出は内規（三）援助金規程の定めるところにより行なう。

第15条（臨時雇用）

同窓会運営に当り、幹事会で臨時雇の必要を認めた場合、会長の承認をもってこれを行なうことができる。臨時雇用に要する費用は内規（五）臨時雇用規程の定める所による。

● 広島工業大学同窓会内規

（一） 旅費規程

第1条

役員会出席役員に対しては、旅費を支給するものとする。

第2条

旅費は役員の居住地より役員会開催地までの交通費に当日の日当500円を加算するものとする。

第3条

使用交通機関は汽車、電車、バス船舶の普通料金とする。役員は自己の使用交通機関を会計に提出し、承認を受けるものとする。

第4条

会誌その他、広告掲載のために広告取得する場合、交通費に当日の日当500円を加算し支給するものとする。

但し、交通機関については会計の承認を必要とする。

第5条

その他の同窓会運営に関する出張に対しては、旅費を支給するものとする。旅費は原則として2条、3条に準ずる。

第6条

支給された費用の領収は様式(1)をもって行なう。

(二) 慶弔費規程

第1条

教職員の逝去に対して香典として原則として1,000円を御霊前に備えるものとする。但し、状況により会長、副会長、幹事会において協議するものとする。

(三) 援助金規程

第1条

地区代表権を獲得し、且つ、日本選手権試合に相当する試合に出場する団体、試合に登録される選手の団体または個人に対し、次の額内において援助金を支給する。(昭和43. 8. 17 承認)

- ① 年度予算の範囲内において1日1人当1,000円とする。
- ② 支給日数は片道100～300Kmまでは試合日に1日加算するものとする。片道300Km以上は試合日に2日加算するものとする。但し、日本国有鉄道五日市駅より国鉄の距離計算に準ずるものとする。

第2条

自治会主催の大学祭に援助金を支給するものとする。但し支給額については、年度予算範囲内において役員会で決定する。

第3条

支部に援助金を支給するものとする。但し、支給額については年度予算範囲内において役員会で決定する。

第4条

援助金を受けたい団体もしくは個人は指定の申込書様式2aおよび様式3aをもって少なくとも1週間前に申し出なくてはならない。又行事の終了した1週間以内に報告書様式2bおよび様式3

bを提出しなくてはならない。

(四) 手当支給規程

第1条

役員のうち会計に選出された者に対し、会計手当として年間総額15,000円を支給する。

第2条

同窓会発行物のうち、会誌及び会報の発行責任者に手当を支給するものとする。

但し

会誌発行責任者 5,000円

会報発行責任者 2,000円

(五) 臨時雇用規定

第1条

臨時雇用の費用は、1時間200円とする。但し幹事長が特に認めた場合はこのかぎりではない。

第2条

臨時雇用の依頼は様式4aをもって、依頼事務完了しだい様式4bをもって報告するものとする。

高周波溶解炉

- ・高周波電気炉
- ・超音波発生装置
- ・低周波電気炉
- ・真空冶金装置

富士電波工業株式会社

金属材料試験機

- ・金属材料試験機
- ・セメントコンクリート試験機
- ・構造物試験機
- ・馬力試験機
- ・自動車用試験装置
- ・精密ばかり及び計重機

株式会社 東京衝機製作所

デジタル計測器

- ・デジタル応用計測器
- ・車軸速度計
- ・エンジン性能試験装置
- ・デジタル回転計

株式会社 小野測器製作所



共和実業株式会社 広島営業所

広島市八丁堀16番14号 (第2 広電ビル) 電話 21-4181(代)

本社 呉市中央3丁目11番19号 電話 呉21-6201(代)

営業所 東京・富山・名古屋・大阪・福岡

新刊図書・雑誌・教科書

溝本積善館書店

本店 広島市千田町1丁目(広大正門前)

TEL 41-4488

支店 広島市己斐町ひろでん会館 4階

代理業務

ナショナル電子計測器, エヌエヌ回路設計ブロック
ブリュエル・ケアー社, (株)高砂製作所

山陽電子機器株式会社

(〒730) 広島市鶴見町13番11号

電話広島 (0822) 43-0337

販売・車検・钣金・塗装

日産チェリー指定店

ダイハツ全車種販売特約店

40年度電気工学科卒業

室田尚武

広島自動車協業組合
民間車検

古市モータース

広島市安古市町古市1491

TEL (08287) 7-0117

販売 (08287) 7-0325

光 学 機 械 の 総 合 商 社

顕 微 鏡 ・ 精 密 測 定 器 ・ 分 析 器 機

— 主 要 取 扱 い メ ー カ ー —

日本光学工業株式会社 ・ ユニオン光学株式会社
株式会社小坂研究所 ・ 日電バリアン株式会社
富士写真光機株式会社 ・ 株式会社村上色彩技術研究所
カールツァイスイエナ社 ・ カール ・ マール 社

株式 猪 原 商 会 社

本 社 広島市国泰寺町2丁目3番31号 〒730

TEL (0822) 44-2703

商 品 課
修理工場 広島市吉島新町2丁目30番11号 〒733

営 業 所 岡 山 ・ 山 口 ・ 松 山 ・ 沖 縄

しあわせな家族を守る ガードマン

災害倍額**20**倍保険

★若人に……

しあわせの
保険ワイドL

住友生命

広南支部

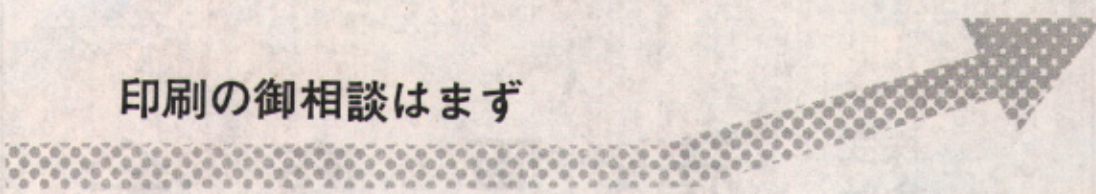
TEL 71-4264
72-4006

★働きざかり

の方に……
ワイド働き
長寿保険

災害・病気入院にもこれで万全

印刷の御相談はまず



新刊書籍・雑誌

平 和 書 房

本 店 広島市千田町1丁目日赤前

TEL ㉔ 8403

支 店 広島市南観音2丁目8-27 (平安閣前)

TEL ㉔ 9074

新刊・書籍・雑誌・洋書

(株) いづみ書店

広島市千田町1丁目 TEL (41) 1572

セイコー印刷

岩国市麻里布町1丁目7-13 ☎21-5546

—材料検査から品質管理まで—

光学機械・測定機・試料作成—研磨用諸機械・試験機

硬度計・特種光源(レーザーを含む)

其の他研究開発機械の総合商社

八洲商事株式会社

本社：大阪市北区絹笠町(堂ビル5階) Tel (06)・363-2878(代) 〒530
(営業所) 東京：東京都豊島区東池袋3丁目21番18号第一笠原ビル4階 Tel (03)・961-0067 〒170
広島：広島市幟町3番3号 Tel (0822)・21-4818 〒730
技術相談所：大阪市東淀川区三津屋北通3丁目2の2 Tel (06)・301-0644 〒532

「緑を提供する」
鶴学園卒業後日本植木協会会員に！
広島の植木、安佐町花木、各種苗木、植木、庭園木、生産販売

河野金柏園

園主 河野信義

731-11 広島市安佐町飯室97番地

TEL 安佐局 (08267) ⑤1381

主な生産樹木 貝塚伊吹、もみじ(楓)、茶山花、黄金この手柏、竹松類(五葉松、黒松、綿松、ジャノメ松) 其の他

精密光学測定機器・材料検査機・計測試験機の総合商社



旭産商株式会社

本社 東京都中央区八重洲4-5(藤和ビル) ☎ 03(272)0761(代) 〒104
大阪支店 大阪市北区梅田町17(新桜橋ビル) ☎ 06(341)8101(代) 〒530
名古屋営業所 名古屋市中村区広小路(新名古屋ビル) ☎ 052(561)3367(代) 〒450
広島営業所 広島市鉄砲町9-23(銀座ビル) ☎ 0822(28)4667(代) 〒730
福岡営業所 福岡市博多駅前2-6-15(渡部ビル) ☎ 092(431)2346(代) 〒812

技術と信用

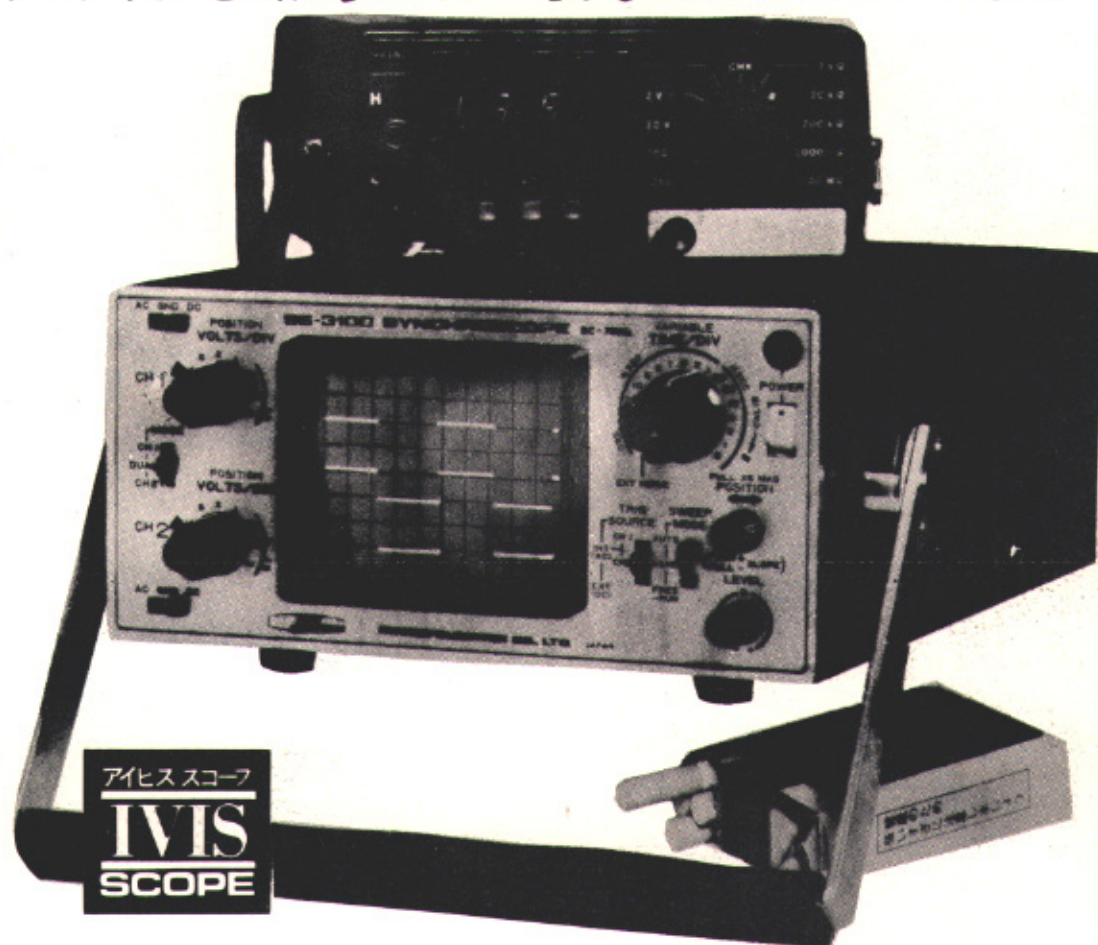
株式会社

大本組

取締役社長 大本 栄一

本店 岡山市内山下1丁目1番13号 TEL岡山 0862(25)5131(代表)
本社 東京都中央区日本橋本町3丁目1番地(共同ビル)
TEL東京03(270)9846(代表)
支店 東京・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡
営業所 千葉・水戸・埼玉・横浜・金沢・神戸・高松・山口・下関・北九州・熊本・大分
出張所 東京港・相生・水島・福山・呉・浜田・萩

大切な測定に機動力を発揮



アイビススコープ
IVIS
SCOPE

新製品 SS-3100
VOAC 717

高級機並の高性能、高信頼性を維持したままでの小形化を実現させたAC-DC-バッテリー3電源方式の小形スコープ。さらに、多くのユーザーに親しまれてきたデジタルテスト「ボアック」も消費電力1.3W、乾電池動作OKの画期的な新タイプでデビュー。

これら小形化2機種は、岩通の永年にわたるスコープ技術と、デジタル測定器の研鑽により、安定した高信頼設計を実現——。小形化による性能、操作性などの妥協を許さぬ開発思想が、ここにもあらわれています。

アイビス スコープ SS-3100

■小形・軽量<3.8kg> ■AC-DC-バッテリー3電源方式
■大幅IC化70%を実現 ■8×10div3.5インチ無視差内面目盛ブラウン管を使用 ■DC~7MHz、感度10mV/div、最高掃引時間100ns/div

アイビス スコープは、小形スコープの愛称です。

デジタルテスト VOAC 717

■小形・軽量<800g> ■電源は単2乾電池動作、またはAC電源 ■C-MOS IC大量採用による低消費電力1.3W ■入力2端子はV.R.A測定共通

岩崎通信機株式会社特約店
株式会社 島津製作所特約店

株式会社 丸島

創造と豊かな対話のために

 **岩通**

岩崎通信機株式会社

広島営業所 730 広島市中町7番地41号(不銀ビル) TEL (0822)47-9324(代表)

花の銀行・話せる銀行

—お近くの窓口がお役に立ちます—



⊕ 広島相互銀行